

2024年4月期 2Q 決算説明会

株式会社アインホールディングス
2023年12月13日

決算概要

連結P/L

売上高はファーマシー事業、リテール事業ともに好調に推移し、前期比113.2%、計画比105.6%となった。経常利益は売上高の増加に伴い前期比128.2%、計画比145.4%となった。

(単位：百万円)	23/4期2Q 実績	24/4期2Q 計画	24/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	171,204	183,459	<u>193,727</u>	22,523	<u>113.2</u>	<u>105.6</u>
売上総利益	24,989	25,546	<u>27,767</u>	2,778	111.1	108.7
売上比 (%)	14.6	13.9	14.3			
販売管理費	18,202	19,459	<u>19,017</u>	815	104.5	97.7
売上比 (%)	10.6	10.6	9.8			
営業利益	6,786	6,087	<u>8,749</u>	1,963	128.9	143.7
売上比 (%)	4.0	3.3	4.5			
経常利益	7,285	6,421	<u>9,338</u>	2,053	<u>128.2</u>	<u>145.4</u>
売上比 (%)	4.3	3.5	4.8			
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,805	3,185	<u>5,257</u>	1,452	<u>138.2</u>	<u>165.1</u>
売上比 (%)	2.2	1.7	2.7			
1株当たり 四半期純利益 (円)	108.32	90.66	<u>149.66</u>	41.34	<u>138.2</u>	<u>165.1</u>

▶ 単位未満切り捨て

▶ 23/4期2Q：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映

ファーマシー事業 連結

外来受診抑制の緩和とインフルエンザの流行に加え、かかりつけ機能の強化等による処方箋枚数の増加及び処方箋単価の上昇により、売上高は前期比113.0%、計画比105.4%となった。セグメント利益は売上高の増加に伴い、前期比116.0%、計画比120.1%となった。

(単位：百万円)	23/4期2Q 実績	24/4期2Q 計画	24/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	153,248	164,380	<u>173,234</u>	19,986	<u>113.0</u>	<u>105.4</u>
売上総利益	18,338	18,400	20,144	1,806	109.8	109.5
売上比 (%)	12.0	11.2	11.6			
販売管理費	8,001	8,340	8,204	203	102.5	98.4
売上比 (%)	5.2	5.1	4.7			
営業利益	10,336	10,060	11,939	1,603	115.5	118.7
売上比 (%)	6.7	6.1	6.9			
セグメント利益	10,771	10,400	<u>12,492</u>	1,721	<u>116.0</u>	<u>120.1</u>
売上比 (%)	7.0	6.3	7.2			
店舗数	1,209	1,224	<u>1,217</u>	8	100.7	99.4

▶ 単位未満切り捨て

▶ 23/4期2Q：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映

リテール事業 連結

人流の回復及び顧客購買傾向がコスメ関連商品等に移ったことにより、客数及び客単価が好調に推移し、売上高は前期比121.5%、計画比110.4%となった。セグメント利益は売上高の増加に伴い、前期比377.7%、計画比239.6%となった。

(単位：百万円)	23/4期2Q 実績	24/4期2Q 計画	24/4期2Q 実績	前期 増減額	前期比 (%)	計画比 (%)
売上高	12,205	13,438	<u>14,832</u>	2,627	<u>121.5</u>	<u>110.4</u>
売上総利益	4,562	5,101	5,674	1,112	124.4	111.2
売上比 (%)	37.4	38.0	38.3			
販売管理費	4,244	4,551	4,363	119	102.8	95.9
売上比 (%)	34.8	33.9	29.4			
営業利益	317	550	1,311	994	413.6	238.4
売上比 (%)	2.6	4.1	8.8			
セグメント利益	349	550	<u>1,318</u>	969	<u>377.7</u>	<u>239.6</u>
売上比 (%)	2.9	4.1	8.9			
店舗数	78	80	<u>78</u>	-	100.0	97.5

▶ 単位未満切り捨て

連結B/S

ネットキャッシュは43,578百万円、自己資本比率は53.4%と健全な財務体質を維持している。

23/4期末
(単位：百万円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	98,305	流動負債	92,986
現預金	46,796	短期借入金	3,670
固定資産	133,444	固定負債	12,218
のれん	46,443	長期借入金	5,021
繰延資産	-	純資産計	126,546
資産合計	231,750	負債・純資産合計	231,750
ネットキャッシュ			37,804
自己資本比率 (%)			54.6

24/4期2Q末
(単位：百万円)

資産の部		負債・純資産の部	
流動資産	108,214	流動負債	102,718
現預金	50,518	短期借入金	3,643
固定資産	134,708	固定負債	10,359
のれん	44,634	長期借入金	2,996
繰延資産	-	純資産計	129,844
資産合計	242,922	負債・純資産合計	242,922
ネットキャッシュ			43,578
自己資本比率 (%)			53.4

- ▶ 単位未満切り捨て
- ▶ ネットキャッシュ = 現預金 - 有利子負債

資産の部

新型コロナウイルス治療薬在庫等による棚卸資産の増加並びに新規出店による建物及び構築物の増加により、総資産は23/4期末より11,172百万円増加した。

(単位：百万円)	23/4期2Q末	23/4期末	24/4期2Q末	増減額
現金及び預金	46,723	46,796	50,518	3,722
売掛金	12,147	13,249	13,643	394
棚卸資産	21,440	21,586	24,855	3,269
流動資産合計	98,288	98,305	108,214	9,909
建物及び構築物	19,983	21,407	23,624	2,217
土地	10,585	10,602	10,313	▲289
有形固定資産合計	36,903	39,459	40,677	1,218
のれん	48,491	46,443	44,634	▲1,809
無形固定資産合計	53,820	52,343	50,976	▲1,367
投資有価証券	2,811	2,720	2,900	180
繰延税金資産	6,124	5,990	6,046	56
敷金及び保証金	23,070	24,507	25,213	706
投資その他の資産合計	42,287	41,641	43,054	1,413
固定資産合計	133,011	133,444	134,708	1,264
繰延資産計	-	-	-	-
資産合計	231,299	231,750	242,922	11,172

▶ 単位未満切り捨て ▶ 投資総額（有形及び無形固定資産＋敷金・保証金）は6,196百万円

▶ 増減額：23/4期末・24/4期2Q末比較 ▶ 23/4期2Q末：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映

負債・純資産の部

医薬品在庫の増加及び新規出店により買掛金は7,858百万円増加した。また、借入金の返済等により、短期及び長期借入金は2,052百万円減少した。

(単位：百万円)	23/4期2Q末	23/4期末	24/4期2Q末	増減額
買掛金	60,719	58,698	66,556	<u>7,858</u>
短期借入金	3,776	3,670	3,643	<u>▲27</u>
流動負債合計	93,309	92,986	102,718	9,732
長期借入金	10,038	5,021	2,996	<u>▲2,025</u>
固定負債合計	17,120	12,218	10,359	▲1,859
負債合計	110,429	105,204	113,078	7,874
資本金	21,894	21,894	21,894	-
資本剰余金	20,504	20,504	20,499	▲5
利益剰余金	80,534	85,963	89,113	3,150
株主資本合計	120,933	126,362	129,524	3,162
純資産合計	120,869	126,546	129,844	3,298
負債純資産合計	231,299	231,750	242,922	11,172

▶ 単位未満切り捨て

▶ 増減額：23/4期末・24/4期2Q末比較

▶ 23/4期2Q末：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映

連結CF

両事業部の利益増加等により営業キャッシュフローが14,094百万円となり、現金及び現金同等物期末残高は前期より6,766百万円増加と、潤沢なキャッシュを維持している。

(単位：百万円)	23/4期2Q	24/4期2Q	増減額
営業キャッシュフロー	8,456	14,094	5,638
税金等調整前当期利益	7,167	9,427	2,260
減価償却費	2,567	2,929	362
のれん償却額	2,117	2,177	60
売上債権増減額 (▲は増加)	1,694	▲286	▲1,980
棚卸資産増減額 (▲は増加)	▲4,890	▲3,232	1,658
未収入金増減額 (▲は増加)	▲1,659	▲3,557	▲1,898
仕入債務増減額 (▲は減少)	5,255	7,759	2,504
投資キャッシュフロー	▲18,617	▲5,793	12,824
有形・無形固定資産取得による支出	▲5,680	▲5,320	360
子会社株式取得による支出	▲14,602	▲295	14,307
財務キャッシュフロー	▲5,793	▲4,237	1,556
現金及び現金同等物増減額	▲15,955	4,063	20,018
現金及び現金同等物期末残高	43,514	50,280	6,766

▶ 単位未満切り捨て

▶ 23/4期2Q：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映

事業価値分析

	23/4期2Q	23/4期	24/4期2Q	増減
自己資本比率 (%)	52.2	54.6	53.4	1.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	94.9	85.5	61.3	▲33.6
株価収益率 (倍) PER	28.85	21.46	14.17	▲14.68
1株当たり当期純利益 (円) EPS	108.32	262.87	149.66	41.34
株価純資産倍率 (倍) PBR	1.83	1.58	1.16	▲0.67
1株当たり純資産 (円) BPS	3,438.40	3,599.47	3,693.46	255.06
総資産利益率 (%) ROA	1.7	4.2	2.2	0.5
株主資本利益率 (%) ROE	3.2	7.5	4.1	0.9
EBITDA (百万円)	11,471	25,843	13,855	2,384
EV/EBITDA倍率 (倍)	16.60	6.34	7.89	▲8.71
ネットD/Eレシオ (倍)	▲0.27	▲0.30	▲0.34	▲0.07
ネットキャッシュ (百万円)	32,608	37,804	43,578	10,970
株主価値 (百万円)	222,986	201,720	152,906	▲70,080
時価総額 (百万円)	219,562	198,133	149,032	▲70,530

▶ 単位未満切り捨て ▶ 増減：23/4期2Q・24/4期2Q比較

▶ ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 (有利子負債 - 現金及び預金) / 株主資本

▶ ネットキャッシュ = 現金及び預金 - 有利子負債

▶ 株主価値 = EV (時価総額 + 有利子負債 - 余剰現金) - 純有利子負債

▶ 時価総額：自己株式を除く

▶ 時価総額算出株価：23/4期2Q末6,250円 (22/10月末) 23/4期末5,640円 (23/4月末) 24/4期2Q末4,242円 (23/10月末)

▶ 23/4期2Q：企業結合に係る暫定的な会計処理の確定の内容を反映

24/4期 修正計画 (連結)

24/4期はファーマシー事業41店舗、リテール事業6店舗の新規出店により、売上高は前期比108.8%を見込み、経常利益は前期比113.3%を見込む。

(単位：百万円)	22/4期 実績	23/4期 実績	24/4期 修正計画	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	316,247	358,742	<u>390,263</u>	31,521	<u>108.8</u>
売上総利益	49,971	53,698	58,106	4,408	108.2
売上比 (%)	15.8	15.0	14.9		
販売管理費	34,832	37,694	39,656	1,962	105.2
売上比 (%)	11.0	10.5	10.2		
営業利益	15,139	16,004	<u>18,450</u>	2,446	<u>115.3</u>
売上比 (%)	4.8	4.5	4.7		
経常利益	16,041	17,064	<u>19,340</u>	2,276	<u>113.3</u>
売上比 (%)	5.1	4.8	5.0		
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,092	9,234	<u>10,000</u>	766	<u>108.3</u>
売上比 (%)	2.2	2.6	2.6		
1株当たり 当期純利益 (円)	201.47	262.87	284.64	21.77	108.3
年間配当金 (円)	55.00	60.00	<u>60.00</u>	-	<u>100.0</u>

▶ 単位未満切り捨て

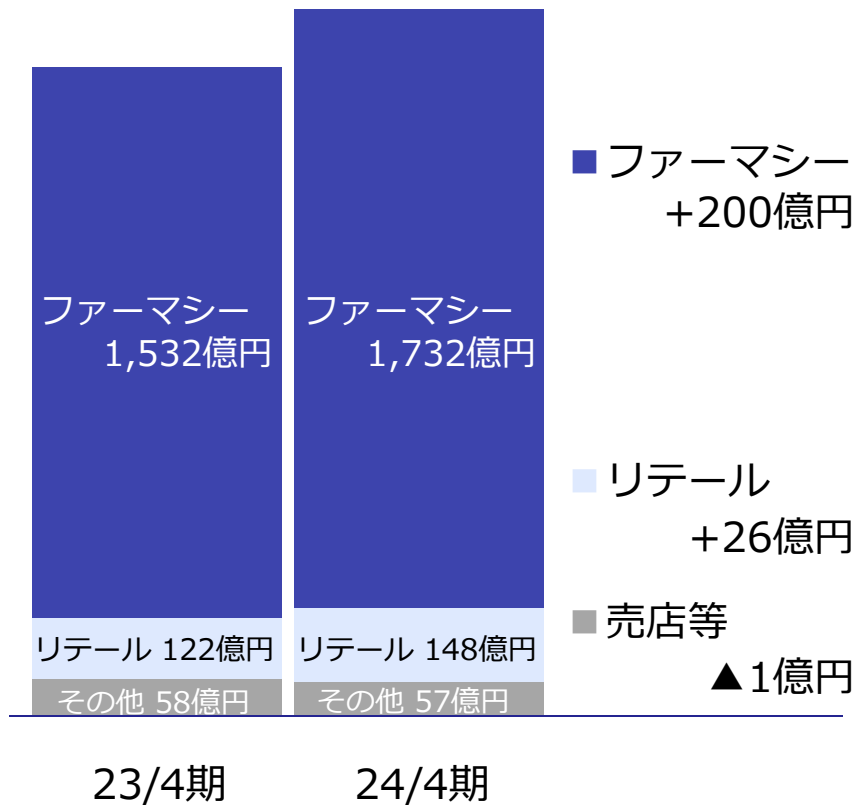
Review

連結 対前期比較

ファーマシー事業及びリテール事業の売上高の伸長等により、経常利益は前期差+21億円の増益となった。

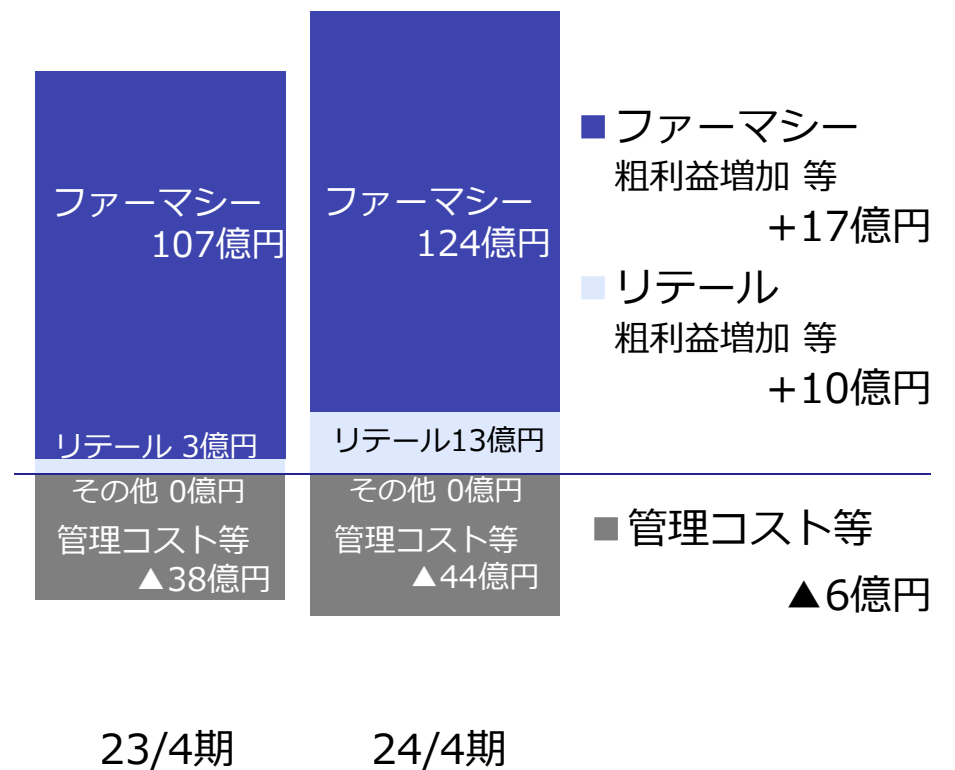
売上高

1,712億円 → 1,937億円 +225億円(+13.2%)



経常利益

72億円 → 93億円 +21億円(+28.2%)



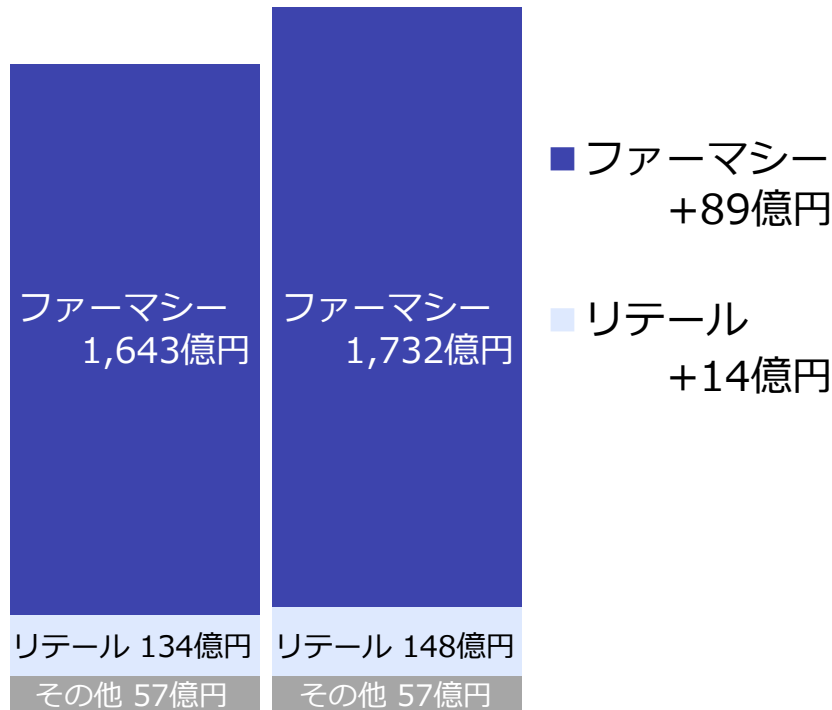
▶ 利益に対して減少：▲表記

連結 対計画比較

ファーマシー事業及びリテール事業の売上高の伸長等により、経常利益は計画差+29億円の増益となった。

売上高

1,834億円 → 1,937億円 +103億円 (+5.6%)

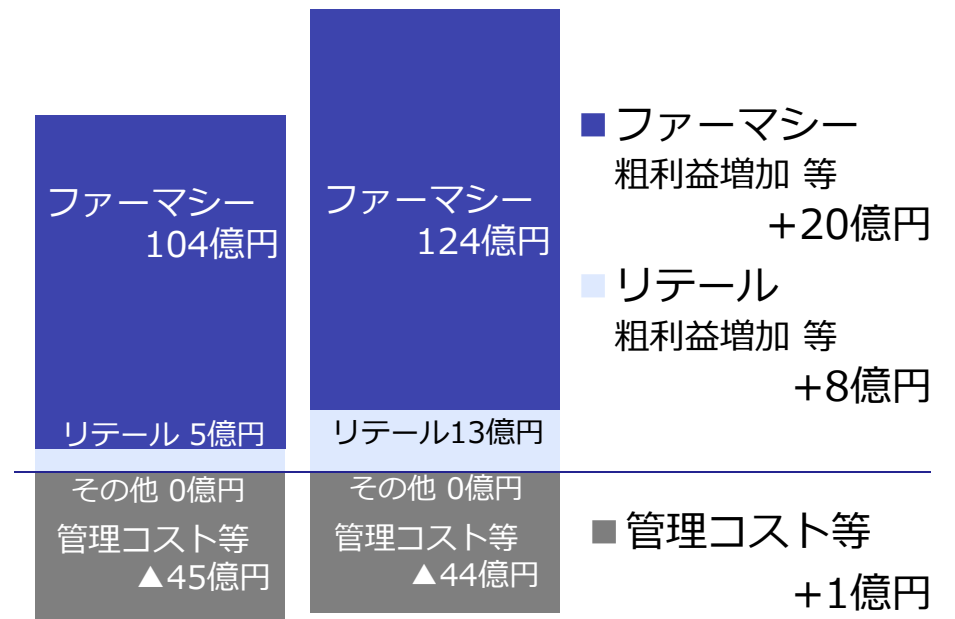


24/4期
計画

24/4期

経常利益

64億円 → 93億円 +29億円 (+45.4%)



24/4期
計画

24/4期

▶ 利益に対して増加：+表記

修正計画

24/4期修正計画 ファーマシー事業

既存店及び前期出店の売上高の増加が見込まれるため、売上高は前期比108.6%、期初計画比103.9%の349,100百万円、セグメント利益は前期比109.3%、期初計画比108.7%の26,390百万円へと通期計画を修正する。

(単位：百万円)	23/4期 実績	24/4期 期初計画	24/4期 修正計画	前期比 (%)	期初計画比 (%)
売上高	321,577	336,093	349,100	108.6	103.9
売上総利益	39,779	40,713	42,680	107.3	104.8
売上比 (%)	12.4	12.1	12.2		
販売管理費	16,559	17,080	17,160	103.6	100.5
売上比 (%)	5.1	5.1	4.9		
営業利益	23,220	23,633	25,520	109.9	108.0
売上比 (%)	7.2	7.0	7.3		
セグメント利益	24,135	24,283	26,390	109.3	108.7
売上比 (%)	7.5	7.2	7.6		
店舗数	1,209	1,249	1,240	102.6	99.3

▶ 単位未満切り捨て

24/4期修正計画 リテール事業

既存店の客数が好調に推移し、売上高の増加が見込まれるため、売上高は前期比114.9%、期初計画比108.2%の29,500百万円、セグメント利益は前期比198.5%、期初計画比175.9%の2,410百万円へと通期計画を修正する。

(単位：百万円)	23/4期 実績	24/4期 期初計画	24/4期 修正計画	前期比 (%)	期初計画比 (%)
売上高	25,685	27,263	29,500	114.9	108.2
売上総利益	9,694	10,405	11,230	115.8	107.9
売上比 (%)	37.7	38.2	38.1		
販売管理費	8,521	9,035	8,830	103.6	97.7
売上比 (%)	33.2	33.1	29.9		
営業利益	1,172	1,370	2,400	204.8	175.2
売上比 (%)	4.6	5.0	8.1		
セグメント利益	1,214	1,370	2,410	198.5	175.9
売上比 (%)	4.7	5.0	8.2		
店舗数	78	88	82	105.1	93.2

▶ 単位未満切り捨て

24/4期修正計画 連結

ファーマシー事業及びリテール事業の売上高増加により、連結業績予想を修正する。売上高は前期比108.8%、期初計画比104.1%の390,263百万円、経常利益は売上高の増加に伴い前期比113.3%、期初計画比118.6%の19,340百万円を計画する。

(単位：百万円)	23/4期 実績	24/4期 期初計画	24/4期 修正計画	前期比 (%)	期初計画比 (%)
売上高	358,742	375,000	390,263	108.8	104.1
売上総利益	53,698	55,413	58,106	108.2	104.9
売上比 (%)	15.0	14.8	14.9		
販売管理費	37,694	39,750	39,656	105.2	99.8
売上比 (%)	10.5	10.6	10.2		
営業利益	16,004	15,663	18,450	115.3	117.8
売上比 (%)	4.5	4.2	4.7		
経常利益	17,064	16,302	19,340	113.3	118.6
売上比 (%)	4.8	4.3	5.0		
親会社株主に 帰属する当期純利益	9,234	8,250	10,000	108.3	121.2
売上比 (%)	2.6	2.2	2.6		
1株当たり 当期純利益 (円)	262.87	234.84	284.64	108.3	121.2
年間配当金 (円)	60.00	60.00	60.00	100.0	100.0

▶ 単位未満切り捨て

Strategy

Strategy

トップラインの拡大

- ファーマシー事業 **41店舗**出店（オーガニック21店舗 M&A20店舗）
- リテール事業 **6店舗**出店

人材採用 育成

- **新卒薬剤師600人、医事スタッフ620人**を採用
- **フィールドマネジャー（FM）、スーパーバイザー（SV）の定着**
- 人材育成

経営基盤の強化

- DXの推進及び公式アプリ等による顧客サービスの向上
- サステナビリティ経営の推進

アインズ&トルペの拡大

- 好条件好立地への出店と**中長期の出店戦略**

トップラインの拡大

- ファーマシー事業 **41店舗**出店 (オーガニック21店舗 M&A20店舗)
- リテール事業 **6店舗**出店

24/4期2Q実績

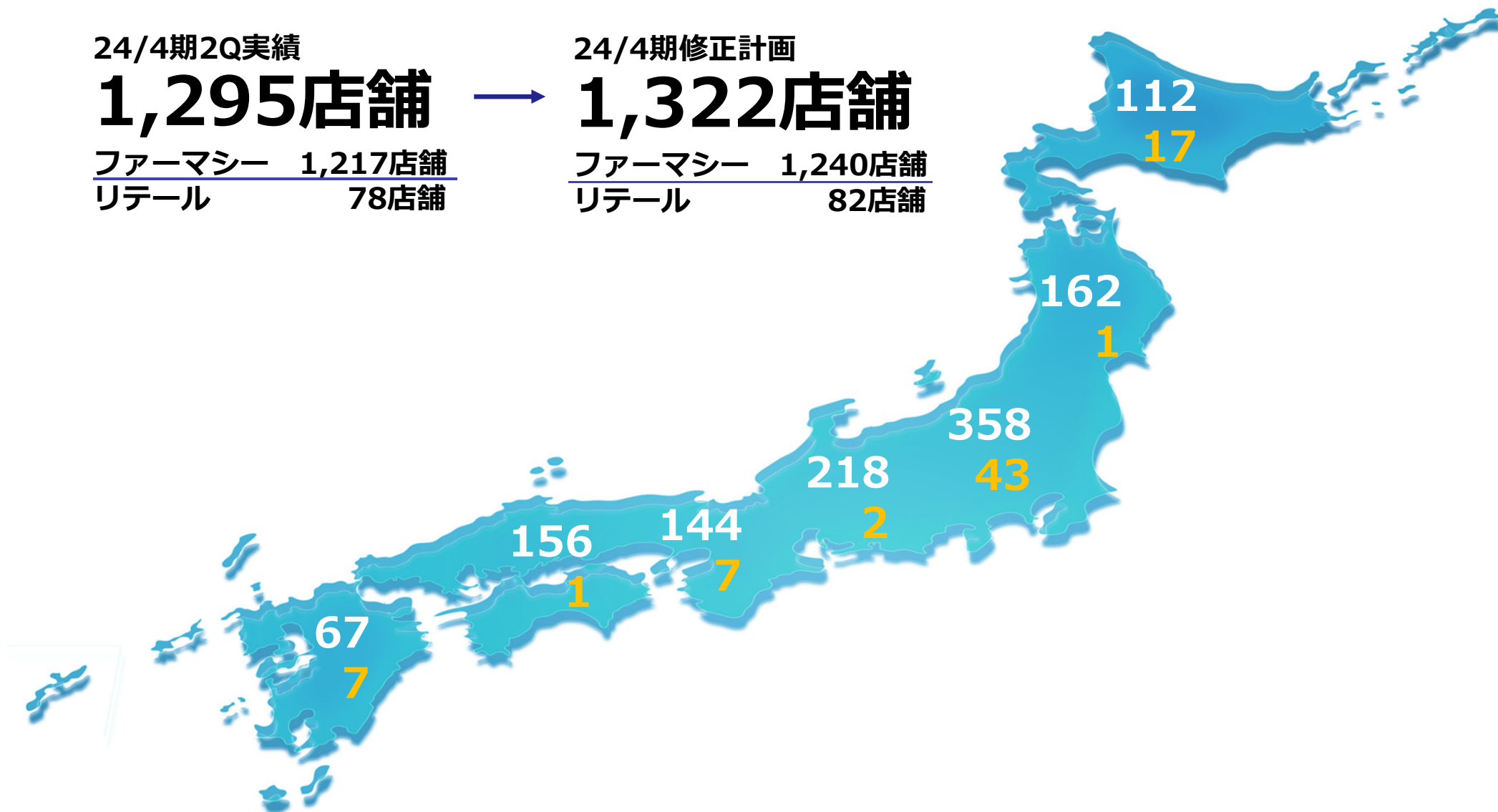
1,295店舗

ファーマシー 1,217店舗
リテール 78店舗

24/4期修正計画

1,322店舗

ファーマシー 1,240店舗
リテール 82店舗



□:ファーマシー ■:リテール ▶ 24/4期2Q末

トップラインの拡大

- ファーマシー事業 **41店舗**出店 (オーガニック21店舗 M&A20店舗)
- リテール事業 **6店舗**出店

■ 実績及び計画

		24/4期2Q		24/4期
		計画	実績	修正計画
出店	ファーマシー	19	15	41
	うちオーガニック	10	9	21
	M&A	9	6	20
	リテール	2	2	6
合計		21	17	47
閉店	ファーマシー	4	7	10
	リテール	1	2	2
	合計	5	9	12

■ ファーマシー出退店推移

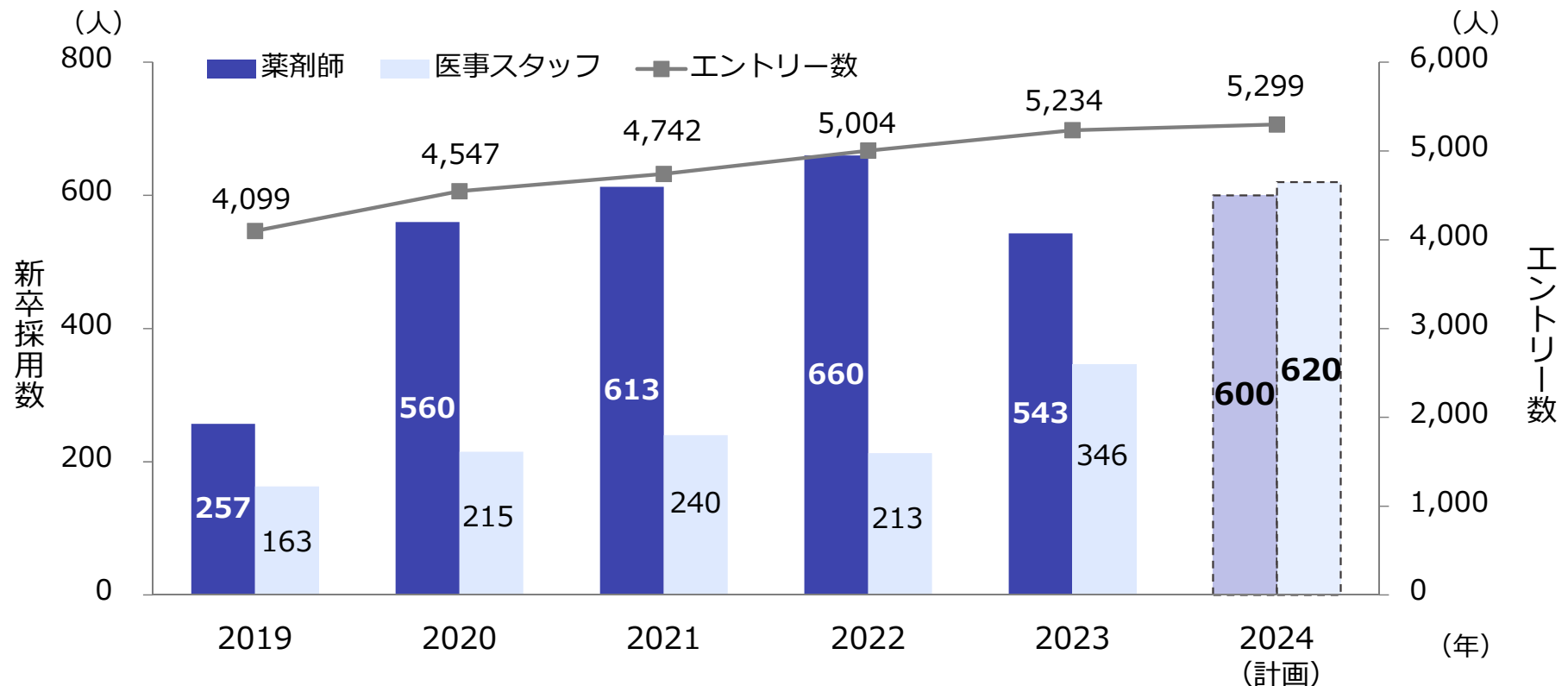
	18/4期	19/4期	20/4期	21/4期	22/4期	23/4期	24/4期2Q
オーガニック	25	23	14	15	25	27	9
M&A	11	134	6	14	24	114	6
EV/EBITDA倍率	3.96	4.88	3.71	3.74	4.13	6.55	3.08
閉店	73	54	64	52	15	31	7
うち譲渡	32	30	42	34	5	7	2
店舗数	1,029	1,132	1,088	1,065	1,099	1,209	1,217

▶ EV/EBITDA倍率=EV (M&A : 買収価格) /EBITDA (営業利益+減価償却費)

人材採用 育成

- 新卒薬剤師600人、医事スタッフ620人を採用
- フィールドマネジャー（FM）、スーパーバイザー（SV）の定着
- 人材育成

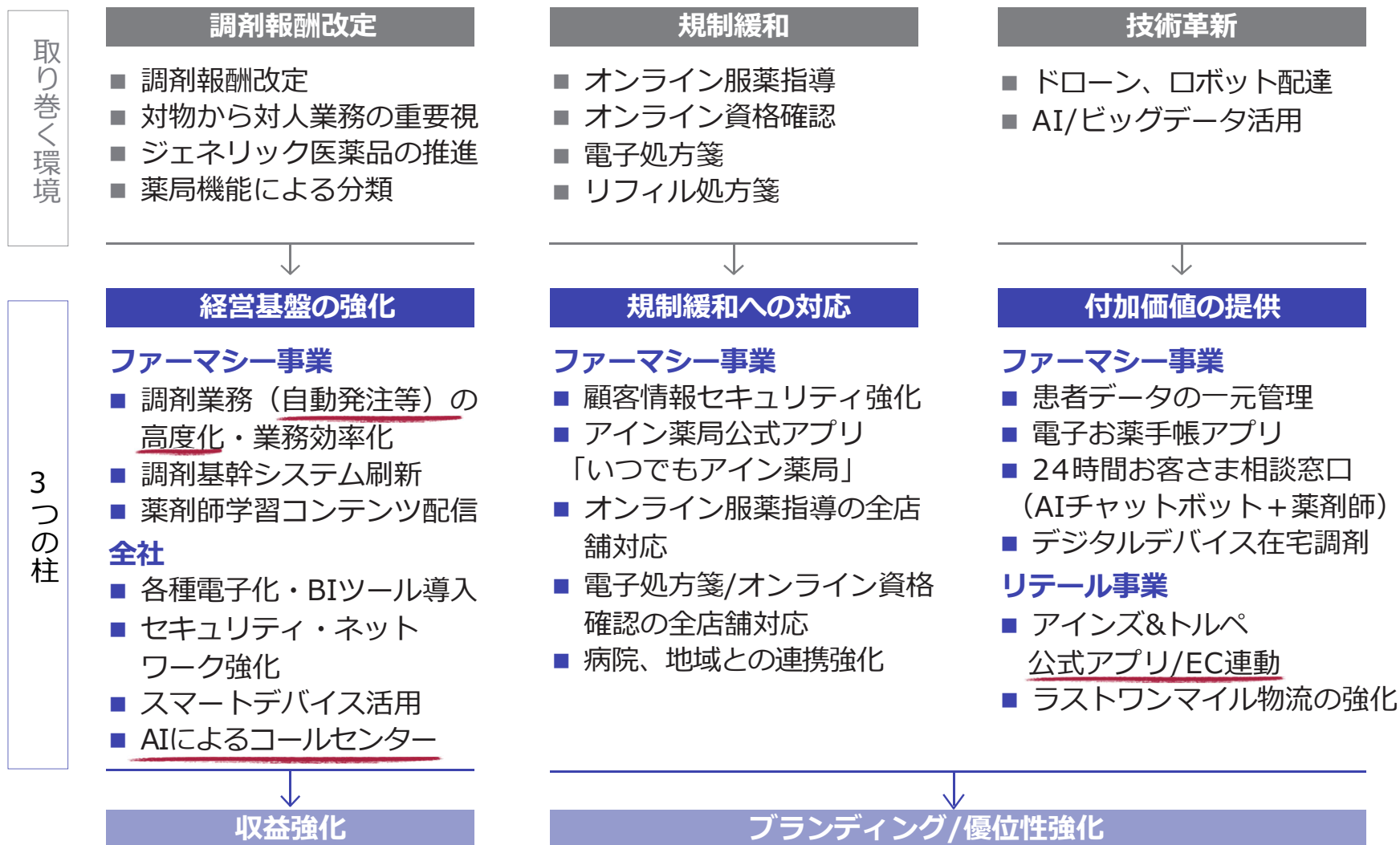
23/4月は543人の新卒薬剤師が入社した。24/4月の新卒薬剤師の採用人数は約600人を計画している。23/4月末時点では、従業員数14,147人、うち薬剤師6,331人となっている。



経営基盤の強化

- DXの推進及び公式アプリ等による顧客サービスの向上
- サステナビリティ経営の推進

DXにより経営基盤を強化し収益向上につなげていくと共に、規制緩和、先進技術に対応し当社だからこそできる付加価値を提供することで、さらに優位性を確立していく。



経営基盤の強化

- DXの推進及び公式アプリ等による顧客サービスの向上
- サステナビリティ経営の推進

人々の健康や美に貢献する事業を通じ、グループ・ステートメントでもある「お客さまの元気と笑顔」を実現し続けるため、良識と倫理観を持った企業活動を行ってきた。これからも、お客さまをはじめ多様なステークホルダーの皆さまのことを考え、自ら変化し行動することで、企業の持続的な成長と、社会・環境・経済価値を創出し、サステナビリティ経営を実現する。

1. 地域医療への貢献

「地域全体で治し、支える」
医療に貢献する薬局となる



2. 美しさとしよやかさの提供

現代社会において、毎日を楽しむための美しさとしよやかさを提供する



3. 安全・安心と信頼

日々の業務を通じて、安全・安心と信頼を届ける

前文「すべての人々の人権の実現」



5. 健全な経営基盤

健全な経営基盤を強化する

前文「すべての人々の人権の実現」



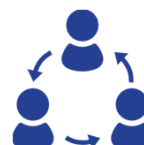
4. 環境保護・負荷低減

環境保護及び負荷低減へ貢献する



6. 地域社会・取引先との連携

地域コミュニティ及びサプライチェーンとともに、健康な社会づくりとサステナビリティ活動を推進する



経営基盤の強化

- DXの推進及び公式アプリ等による顧客サービスの向上
- サステナビリティ経営の推進

サステナビリティ委員会では、約30のプロジェクトチームが、マテリアリティごとに組織横断の取り組みを推進している。

5.健全な経営基盤



有識者ダイアログの開催

外部有識者を招き、ダイアログを開催しました。サステナビリティへの取り組みについて客観的な評価やアドバイスをいただき、活動に反映しています。



6.地域社会 取引先との連携



CSR調達 お取引先様説明会の実施

CSR調達に関するお取引先様説明会及びアンケートを実施しました。持続可能な社会の実現に向けてサプライチェーンマネジメントを強化しています。



5.健全な経営基盤



プラチナくるみん認定の取得

2023年7月「次世代育成支援対策推進法」における高基準を満たし、子育てサポート企業としてアインファーマシーズが「プラチナくるみん認定」を取得しました。



6.地域社会 取引先との連携



地域健康イベントの実施

全薬局において、心臓病・脳卒中予防を目指す「健康ハートの日」「健康ハートウィーク2023」に参加しました。これからも地域の健康維持推進に貢献します。



アインズ&トルペの拡大

- 好条件好立地への出店と中長期の出店戦略

24/4期出店修正計画

6 店舗



東京都
(24/3月オープン予定)



横浜ポルタ店
(23/9月オープン)



ココノススキノ店
(23/11月オープン)



ココリア多摩センター店
(23/6月オープン)

24/4期 修正計画 (連結)

24/4期はファーマシー事業41店舗、リテール事業6店舗の新規出店により、売上高は前期比108.8%を見込み、経常利益は前期比113.3%を見込む。

(単位：百万円)	22/4期 実績	23/4期 実績	24/4期 修正計画	前期 増減額	前期比 (%)
売上高	316,247	358,742	390,263	31,521	108.8
売上総利益	49,971	53,698	58,106	4,408	108.2
売上比 (%)	15.8	15.0	14.9		
販売管理費	34,832	37,694	39,656	1,962	105.2
売上比 (%)	11.0	10.5	10.2		
営業利益	15,139	16,004	18,450	2,446	115.3
売上比 (%)	4.8	4.5	4.7		
経常利益	16,041	17,064	19,340	2,276	113.3
売上比 (%)	5.1	4.8	5.0		
親会社株主に帰属 する当期純利益	7,092	9,234	10,000	766	108.3
売上比 (%)	2.2	2.6	2.6		
1株当たり 当期純利益 (円)	201.47	262.87	284.64	21.77	108.3
年間配当金 (円)	55.00	60.00	60.00	-	100.0

▶ 単位未満切り捨て

本件に係る照会先

**株式会社インホールディングス
経営企画室**

TEL011-814-0010

FAX011-814-5550

<https://www.ainj.co.jp/corporate/>

事前に株式会社インホールディングスの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。



AIN GROUP